

# 炊きだしボランティア通信

vol 42

2010.8月

**炊きだし 8月14日(土)晴れ 9:00～元寺小路教会(準備) 12:00～五橋公園**

## (炊きだし)

朝から小雨模様の日です。いちおう止んでいるものの、いつポツポツと落ちてきても不思議でない空を時々ながめながら、炊きだしまでもってくれることを祈るばかりでした。高校生の「夏のボランティア体験」期でもあり、R高校やT高校などの生徒が3人ボランティア参加に来ており、S学園からも今月は6人来ていました。そこに本校が7人混じりましたから、Wさんはじめ指導する正平協スタッフの人たちは本当に大変だったと思います。高校生たちも一日熱心によくはたらき通しました。お出でになったホームレスは61人でした。



○下着類などのセット商品を準備中です



○こちらはそうめん汁の準備です



○パタパタ、おむすびのご飯を冷まします



○アチチーですが、にぎります



○おむすびです、どうぞ。袋に入れますね。



○こちら衣類提供コーナーです。大きさありますか？



○それ気に入りましたか？



○このカードに書いてから、靴をさしあげます。



○大きさどうですか？見てください。



○ W 会長さん、お世話になりました。 イエーイ !!

**夜回り** 8月11日(水)20:10~21:30 雨あがり。台風4号接近中。

Aさんと二人で回った。気丈な年長のご婦人で、1月にも一緒に回ったことがあった。お盆にさしかかった街の雑踏を話題にしながら夜回り先へ向かった。国際センターもこの時節は明かりが消えていた。裏のベンチに1人、さすがの暑さから下着姿でうつぶせに寝ていた。表のベンチの人は、私たちがそこへ向かう途中、自転車に荷物を積んで立ち去っていくのにすれ違った。「こんばんは」と急いで声をかけたが返事が返ってこなかった。そういうこともありますと私が言うと、Aさんは黙っていた。西公園旧図書館。奥の小屋のおじさんはお変わりない。「暑いですね。だいじょうぶですか」「ハイ」。わき小屋の30代青年には、Hさんから言付けをもらって来ていたのを伝えた。「13日金曜日11時メディアトーク1階で待ち合わせだそうですよ」と言いながら書き付けを渡した。萌友アパートに入りたい、と言うのに、ちょうど一部屋空いているので面接するということだった。この青年は気むずかしくてあまり顔を見せない。私らもテントの隙間から出てくる手に向かって話すことが多かった。いずれ、相談がうまく進むことを祈った。Oさんからは、祭りの間中いかに過酷な仕打ちを受けたかの説明があった。夜中に数時間だけ寝に帰った。……それにしても暑いですねえ、Oさんならここ(陸橋下テントハウス)にエアコンつけられるでしょ?——ハツハツハ実は太陽光電池を引いて扇風機をつけようとしたけどちょっと失敗しちゃってねえ。……とてもお元気そうだった。

次回の炊きだしは9月11日（土）になります。

献品参加でのご協力も歓迎いたします。よろしくお願ひします。

### お・ま・け

今年おこなわれた小・中学生と保護者対象のオープンスクール(7月31日)に、ボランティア同好会もはじめて参加しました。

教室3分の1を使って、パネルと壁に活動発表をしただけのものでしたが、ご覧になっての感想アンケートをたくさんの方が書いていって下さいました。その一部を紹介します。

「ボランティアに興味ありますか?」という間に、回答者はすべて「はい」でした。以下は感想の主なものです。

- ・ とても色々なことをしていてすごいと思いました。しかもとても楽しそうですね。
- ・ 積極的に活動していると思いました。
- ・ よくやっています。目立たない活動を快く受け入れていること、素晴らしいです。がんばって下さい。
- ・ 本気モードの真剣さが伝わってきます。
- ・ 何度か来たことがあるけどとてもおもしろい。
- ・ 頑張って下さい。(多数)

感激です。ありがとうございました。